

CP-6-Ⅲ-22	知覚・脳神経特論	第6学年	前期 選択	0.5単位
担当者	森 友久			
一般目標 (GIO)	中枢神経関連領域の薬物治療を理解するために、中枢性疾患、がん・緩和および認知・知覚に関する病態および治療薬に関する知識を修得する。			
到達目標 (SBOs)	<p>【副作用と毒性】</p> <ol style="list-style-type: none"> 副作用と有害事象の違いについて説明できる。 依存形成薬物と依存の病態について説明できる。 <p>【痛みの機序】</p> <ol style="list-style-type: none"> 痛みと骨格筋の機序および関連疾患の病態と治療薬について説明できる。 代表的な麻酔薬と挙げ、薬理機序について説明できる。 <p>【がん・緩和】</p> <ol style="list-style-type: none"> がんの病態と抗がん薬について説明できる。 緩和治療における疼痛コントロールについて説明できる。 <p>【精神疾患】</p> <ol style="list-style-type: none"> 統合失調症の病態と治療薬について説明できる。 うつ病・不安症の病態と治療薬について説明できる。 てんかん・睡眠障害とその治療薬について説明できる。 <p>【脳血管障害】</p> <ol style="list-style-type: none"> パーキンソン病およびアルツハイマー病の病態と治療薬について説明できる。 脳卒中の病態および治療法について説明できる。 			
受講心得・準備学習等	単一の学問としてではなく、関連領域と統合させ理解を深めることを心がける。			
事後学習・復習等	テキストと用意するプリントなどを中心に、細胞から個体、法規と環境などの周辺領域とリンクさせて復習し、理解する。			
オフィスアワー	授業のある日の16:00～18:00。メールによる質問・相談は随時受けつける。			

授業の形式と各回の内容

授業の形式		講義形式で行う。
回	項目	内容
1	副作用と毒性	化学物質と副作用の基礎
2	痛みの機序	運動神経・知覚神経系・中枢神経の基礎
3	がん・緩和	がん・緩和医療の基礎
4	脳血管障害	脳血管・器質性疾患
5	精神疾患	精神疾患の基礎Ⅱ
6	脳血管障害	脳血管・器質性疾患
7	期末試験	

成績評価の方法	期末試験の合計点により評価する。
成績評価の基準	期末試験の得点が60パーセント以上を合格とする。
教科書	森 友久編 「知覚・脳神経特論」(東プリ)
参考書など	副教材は適時、指示する。